

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情2第10号	受理年月日	令和2年6月8日
陳 情 者	[Redacted]		
件 名	スーパーシティ推進に関する陳情		
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>10年後（2030年）の目黒が今以上に「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」となるよう便利で快適なまちづくりに取り組んでいただきたい。本年5月27日に参院本会議でAIやビッグデータを活用した最先端都市「スーパーシティ」の実現に向けた国家戦略特区法改正案が可決しました。まさに、新型コロナウイルス感染症により国民が三密を回避する新たな生活様式の構築に取り組み始めたタイミングです。新たな生活様式において遠隔診療やオンライン教育、無人配送サービス等の重要性が高まっている中、未来の目黒の牽引構想としてスーパーシティ推進に取り組んでいただきたい。</p> <p>【陳情事項】</p> <ol style="list-style-type: none">1 ブラウンフィールド型のスーパーシティ構想を推進するためには、住民の合意形成に対する首長の理解とその合意形成を実現できる人材（推進責任者）が不可欠であり、推進責任者に専門家を起用していただきたい。2 国家戦略特区の会議体を設置し、首長、推進責任者、民間事業者、住民代表等の協議によりスーパーシティ目黒版を策定していただきたい。3 インフラ整備には国主導による予算確保を要望しつつ、官民連携のファイナンス手法に取り組んでいただきたい。			